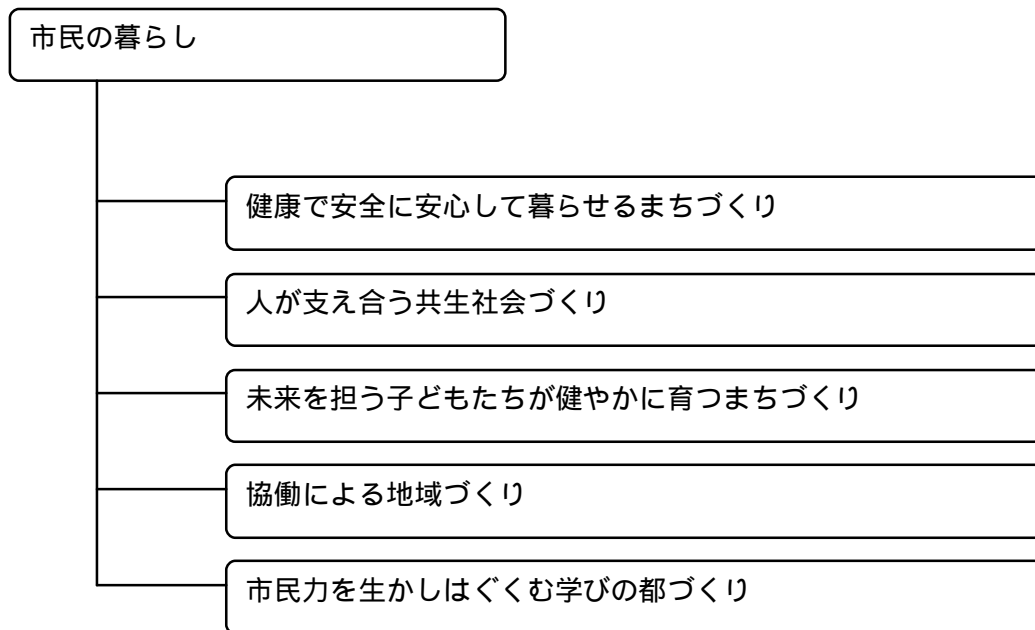


分野別計画の体系（たたき台案）

（市民の暮らし分野の体系）



市民の暮らし分野

分野１－１ 健康で安全に安心して暮らせるまちづくり

（動向と課題）

生活習慣病の予防など、健康づくりが求められている

救急需要が増加傾向にあり、限られた医療資源を有効活用する救急医療体制が求められている

病原性の高い感染症の流行や食の安全を脅かす事件・事故の発生を受けて、危機管理の対策が求められている

近い将来に発生が確実視されている宮城県沖地震をはじめとする災害に対し、都市基盤や住宅などの安全の備え、自助・共助による防災・減災が求められている

（施策の方向）

すべての市民が心身ともに健康に安心して暮らすことのできるまちづくりを進める

宮城県沖地震の発生等に備え被害を最小限に抑えるため、災害に強いまちづくりを進める

（基本的施策）

1-1-1 市民の健康づくりの推進

- ・ 市民のライフステージや心身の状態に応じた健康の維持と増進を図る

1-1-2 医療体制の充実

- ・ 病院群当番制の充実など、救急医療体制の強化を図る
- ・ あすと長町に、小児救急医療や災害時医療などの政策的医療を実施する新市立病院を建設する

1-1-3 暮らしの安全の確保

- ・ 感染症への備えなど、危機管理体制を充実する
- ・ 食生活の安全を確保する体制づくりを進める
- ・ 地球環境にも配慮した適正な中央卸売市場の運営により、生鮮食料品の品質管理を行うとともに、食の安全・安心を支える
- ・ 消費者被害の未然防止・拡大防止を図り、消費者の安全と利益を守る

1-1-4 安全・安心な地域づくり

- ・ 地域の防犯活動の支援や関係機関との連携の強化により、犯罪や交通事故の起きにくい環境の整備を進める

1-1-5 基礎的な生活環境の保全

- ・ 日常生活の安心の基礎となる生活環境の保全を図る
- ・ 動物との共生、需要に応じた環境調和型の新墓園の整備などを進める

1-1-6 災害に強い都市構造の形成

- ・ 浸水被害防止対策、市有建築物やライフライン、橋りょうの耐震化、民間建築物の耐震化促進など、災害に強い都市構造の形成を進める

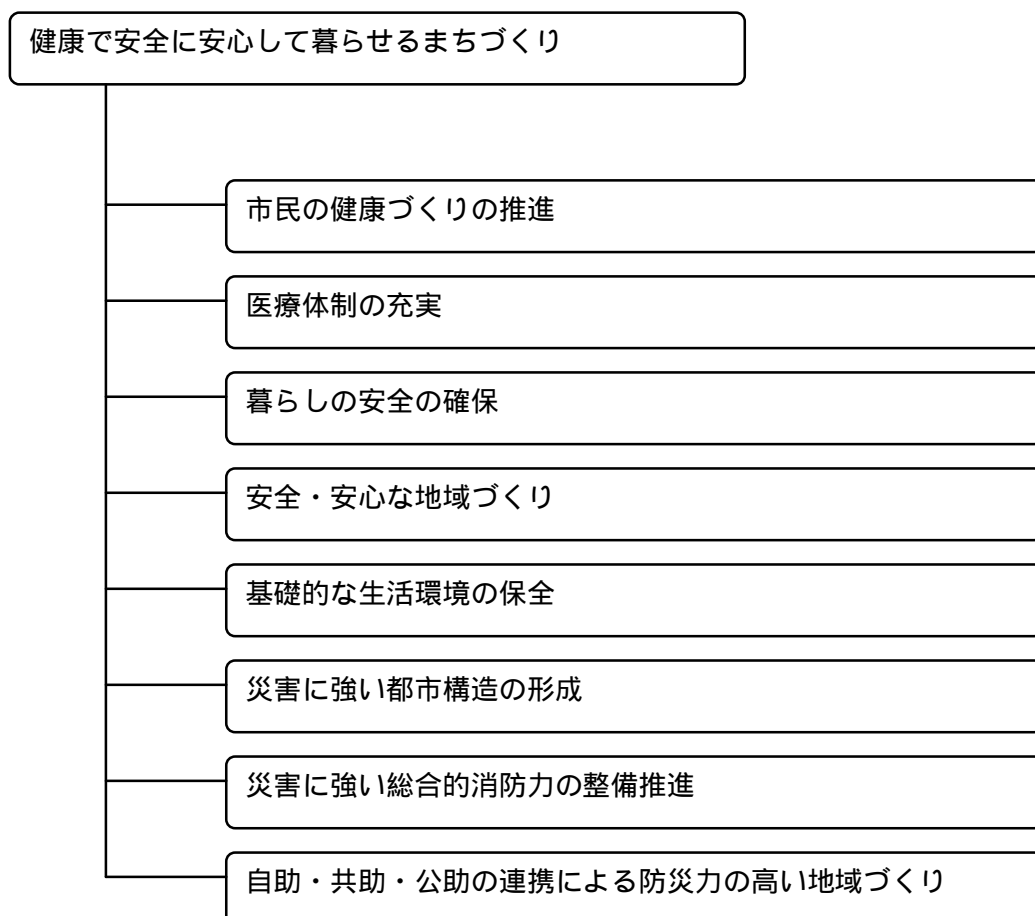
1-1-7 災害に強い総合的消防力の整備推進

- ・ 多様な災害に対応できる消防施設・装備の強化を図る

1-1-8 自助・共助・公助の連携による防災力の高い地域づくり

- ・ 地域の活動団体や福祉団体と協働し、地震や津波などの災害時に被害や犠牲者の拡大を防ぐ地域防災力の向上を図る

（施策の体系）



分野 1 - 2 人が支え合う共生社会づくり

(動向と課題)

1 人暮らしの高齢者や高齢者のみで構成される世帯が増加傾向にあり、地域の支えが求められている

高齢化が進行するなか、健康づくりといきがいの支援がより求められている

ストレスの増加等の社会状況により障害者が増加傾向にあり、地域の支えが求められている

障害者福祉においては、社会資源を有効活用したサービス基盤の整備が求められている

本市の外国人登録者数は留学生を中心に増加傾向にあり、外国籍市民が暮らしやすい社会が求められている

意思決定の場における女性の参画の推進が求められるとともに、女性に対する暴力の根絶が求められている

(施策の方向)

すべての市民が、障害の有無、年齢、性別、国籍などにかかわらず、互いに尊重し、共に支え合う共生社会づくりを進める

(基本的施策)

1-2-1 高齢者が元気で安心して暮らせるまちづくり

- ・ 高齢者が安心して暮らせるよう地域ぐるみの支援体制の確立を図る
- ・ 高齢者が心身ともに自立した生活ができるよう、高齢者の包括ケア体制を充実する
- ・ 高齢者の状態に応じた多様なニーズに対し、選択的な利用ができるよう、多様な福祉サービス基盤を整備するとともに、サービスの質を高める

1-2-2 障害者が自立した生活を送ることができるまちづくり

- ・ 障害者が地域において自立した生活を送ることができるよう地域の支援体制の確立を図る
- ・ 障害者が、自己選択と自己決定による社会参加ができるよう、支援体制の確立を図る

1-2-3 多文化共生社会の構築

- ・ 外国籍市民がその能力を発揮しながら、地域社会の構成員として日本人市民とともに生きていくことができる地域づくりを進める

1-2-4 男女共同参画社会の構築

- ・ 男女が対等なパートナーとして認め合い、それぞれが仕事と生活の調和を図りながら、あらゆる分野で自らの能力を発揮できる社会づくりを進める

1-2-5 利用しやすい施設整備の推進

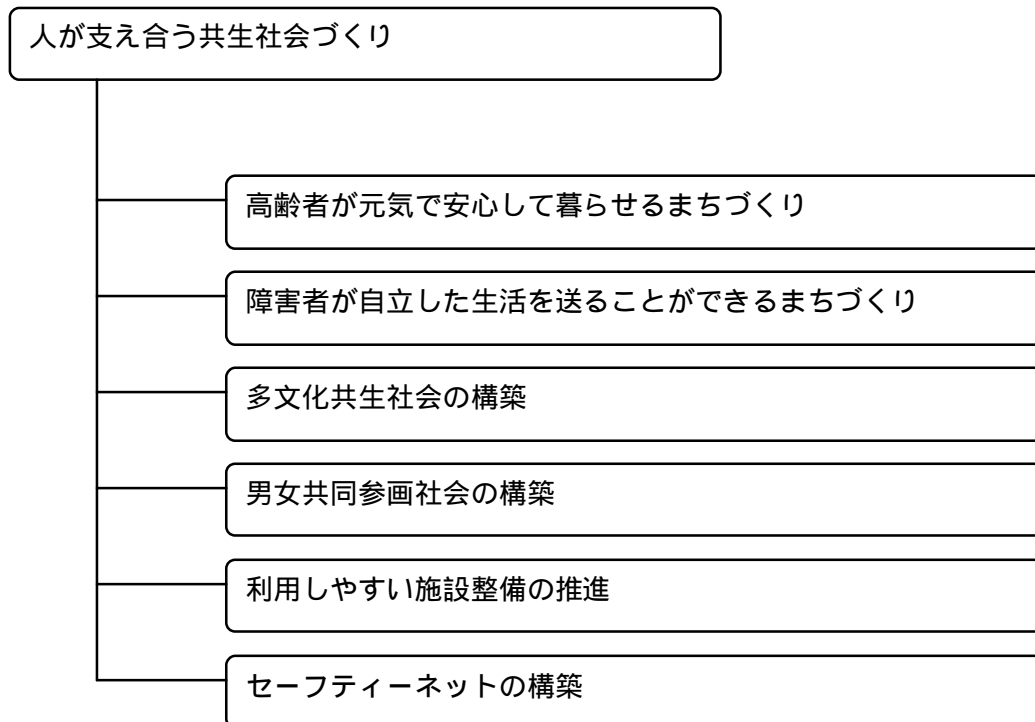
- ・ 高齢者、障害者を含めたすべての生活者・利用者の視点に立った公共施設の整備・改修を進めるとともに、民間施設の整備・改修を促進する

1-2-6 セーフティーネットの構築

- ・ 相談体制の強化や支援策の周知などにより、低所得者の自立やホームレスの社会復帰を支援する
- ・ 住宅確保に配慮が必要な世帯等に対する住宅セーフティーネット機能の向上を図る

- ・ 老朽化した市営住宅の建替えを進めるとともに、民間住宅ストックの有効活用を図る

（施策の体系）



分野 1 3 未来を担う子どもたちが健やかに育つまちづくり

(動向と課題)

核家族化や共働き世帯の増加、地域のつながりの希薄化等により、孤立化している子育て家庭への地域における支援が求められている

核家族化や高度情報化の進展、親の意識の変化等により、家庭の教育力の低下、子どもと地域社会とのつながりの希薄化が危惧されるなか、子どもの生きていく力を育むために、家庭、地域、学校の連携による家庭の教育力と地域社会の教育力の向上が求められている
社会経済状況の変化が激しいなか、子どもたちが社会でたくましく生きていく力の育成が求められている

経済状況や雇用環境が変化するなか、安心して子どもを生み育てられる環境の整備が求められている

保育ニーズの増加や多様化への対応が求められている

(施策の方向)

次世代を担う子どもが健やかにたくましく成長するまちづくりを進める

安心して子どもを生み育てることができるまちづくりを進める

(基本的施策)

1-3-1 子どもと子育て家庭を応援する地域づくり

- ・ 地域の子育てネットワークの構築や育児不安の軽減など、地域の子育て支援力の充実に図る
- ・ 家庭と地域、学校が協働し、家庭教育の充実と地域の教育力の向上を図る
- ・ 地域と学校の連携により、児童生徒の安全確保に取り組む

1-3-2 生きる力をはぐくむ教育の充実

- ・ 子どもたちが社会でたくましく生きていくことができるよう、基礎的知識の習得、応用力の育成、学習意欲の向上により、確かな学力の育成に取り組む
- ・ 健やかな体の育成に向けて、学校体育・食育・学校保健の総合的な取り組みを進める
- ・ 発達障害児への支援など、特別支援教育を充実する
- ・ 学校教育施設の環境を整備するとともに、特色ある高校教育、中高一貫教育を推進する

1-3-3 明るく元気に育つ環境づくり

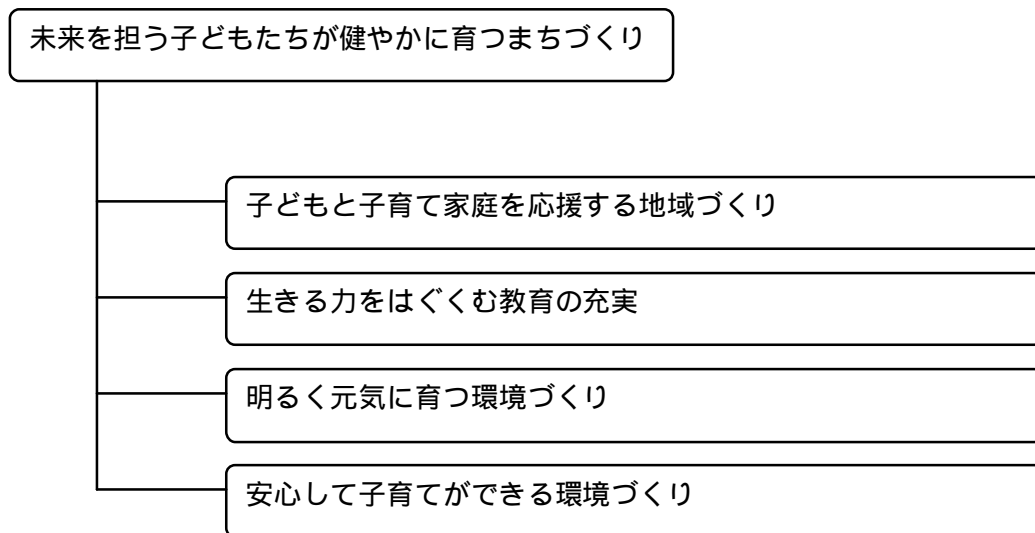
- ・ 子どもの読書活動、社会体験、自然体験など多様な活動・体験機会を充実する
- ・ 児童館の整備や放課後児童の健全育成など、子どもの活動拠点を確保する
- ・ 不登校・引きこもりへの支援など、社会的自立を支援するとともに、児童虐待への対応強化など、支援を要する子どもへの対応を図る
- ・ 食育の推進など、幼少期からの健康習慣づくりを進める
- ・ 子どもの権利の意識啓発を進める

1-3-4 安心して子育てができる環境づくり

- ・ 企業における育児支援制度の普及・啓発など、子育てと就労の両立を支援する
- ・ 多様化する保育需要に対応した保育サービスの拡充を図る

- ・ 子育てに要する経済的負担の軽減や子育ての相談機能の充実など、子育て家庭に対する支援を充実する

(施策の体系)



分野 1 - 4 協働による地域づくり

(動向と課題)

他の政令指定都市と比較すると町内会加入率が高く地域活動に熱心であるとともに、市民活動サポートセンターから多くの団体が育ち、さまざまな活動が行われてきた

高齢化の急速な進展などから、高齢者世帯への支援や災害への対応、犯罪の抑止、交通安全など、地域における課題は増加している

このような中で、人口動態や人口構成、住環境、人のつながりなど、地域ごとに置かれている状況が異なり、地域の課題は多様化・複雑化しており、画一的ではないきめの細かい対応が求められている

高齢者、障害者、子育て家庭等のさまざまなニーズに対し、地域全体で支え合う仕組みが求められている

仙台では、地域活動やNPOなどの市民活動の分野で全国に先駆けた取り組みが行われてきた

培われてきた市民と行政との協働によるまちづくりを進化させ、市民の知恵と創意がより生かせる市民の主体的な参画を推進するための新たな仕組みの構築が求められている

(施策の方向)

地域特性に応じ、地域関連施設の利活用を図りながら、地域住民が主体的・自主的に課題の解決に取り組むことのできる仕組みづくりを進める

地域の子ども、子育て家庭、高齢者、障害者を支える地域づくりを進める

新たな協働により、地域団体やNPO、ボランティアなどの力を生かしたまちづくりを進める

(基本的施策)

1-4-1 地域特性に応じた地域づくり

- ・ 地域のさまざまな主体と協働して、多様化・複雑化する地域課題の解決を図る地域づくりを進める

1-4-2 世代を越えて支え合う地域づくり

- ・ 高齢者や障害者、子育て家庭などのさまざまなニーズに対し、地域と行政が協働し、必要な市民に効果的な支援を行う支え合いのネットワークの構築を進める

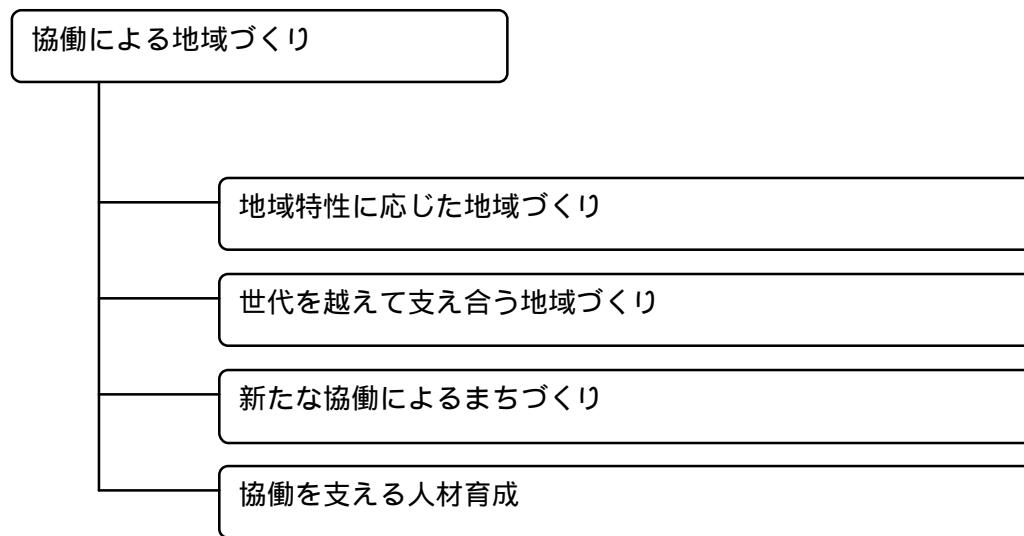
1-4-3 新たな協働によるまちづくり

- ・ 市民が主体的にまちづくりに参画することのできる新たな協働の仕組みを構築し、市民協働第2ステージとして、多様化・複雑化する地域課題の解決を図る

1-4-4 協働を支える人材育成

- ・ 多様な市民活動をコーディネートする人材やボランティアを育成する仕組みづくりを進める

(施策の体系)



分野 1 - 5 市民力を生かしはぐくむ学びの都づくり

(動向と課題)

成熟社会を迎え、人々の価値観が量から質に変わるなか、真の豊かさを実現するために、学習や体験、遊びなどを通した学びの環境が求められている

自立した個人や地域社会の形成に向けた生涯学習機会の充実が求められている

仙台には、歴史や文化などの蓄積されてきた資源や市民発のさまざまなイベントなど、貴重な資産がある

博物館系の施設については、ネットワーク化が進んできている

若者を取り巻く環境が変化するなか、若者が社会活動に参加する機会づくりが求められている

仙台は東北の中核都市として大学や企業が集積し、多くの若者が集まる環境にあり、家庭や学校で蓄積してきた知恵や知識を広げていく若者期に、変化が激しい社会を生きていく力を培うことが求められている

生産年齢人口が減少するなか、社会活動を支える一員としての高齢者の役割が増大しており、高齢者の一層の社会参加が求められている

(施策の方向)

仙台の個性であるまちの資源を生かし、学習や体験、遊びなどを結び合う学びの環境づくりを進める

学生を中心とする若者の力を培い、高齢者の活力を高め、それらを生かしたまちづくりを進める

(基本的施策)

1-5-1 多様な学びの場の発掘・充実

- ・ 多様な学びを支援する生涯学習施設の機能を充実する
- ・ 有形無形の歴史的資源を生かすとともに、地域の貴重な資源の発掘・活用を促進する

1-5-2 学びの連携による交流と新しい価値の創造

- ・ 多様な学びの場をネットワーク化し、成熟社会のなかで豊かに暮らすことのできる新しい価値の創造を図る
- ・ 学びの成果を相互活用できる循環の仕組みづくりを進める

1-5-3 市民の健やかさを生み出すスポーツの振興

- ・ すべての市民がライフステージに応じてスポーツに親しみ、心と体の元気をはぐくむことのできる環境づくりを進める

1-5-4 市民の創造性を生かす文化芸術の振興

- ・ 市民主体の文化芸術活動の支援を進めるとともに、誰もが楽しめるアウトリーチ型文化芸術を推進する

1-5-5 大学と連携したまちづくり

- ・ 学都コンソーシアム等を生かし、大学間の連携や大学と市民等との連携を深め、知的資源を生かしたまちづくりを進める

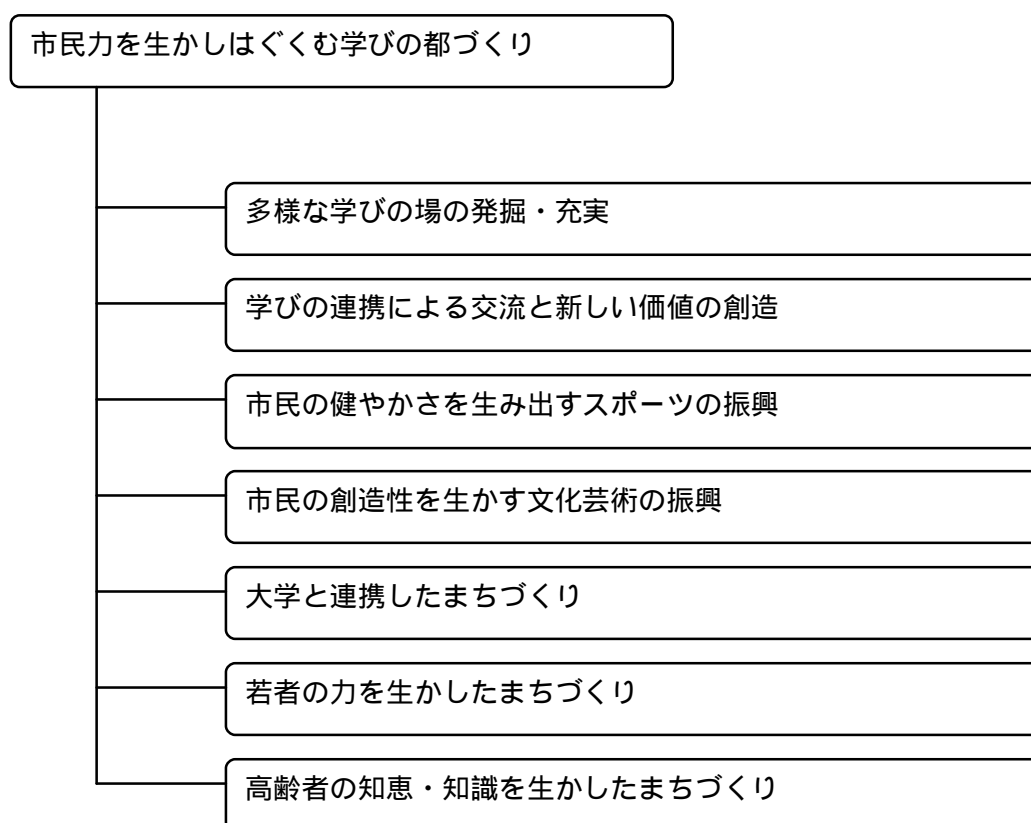
1-5-6 若者の力を生かしたまちづくり

- ・ 学生を中心とする若者のインターンシップ等による経済活動や地域活動への参加を促進し、その体験を通して若者の力をはぐくむとともに、まちの活力を高める
- ・ 企業と学校のパイプづくりを促進するなど、若者の就業や起業を支援する

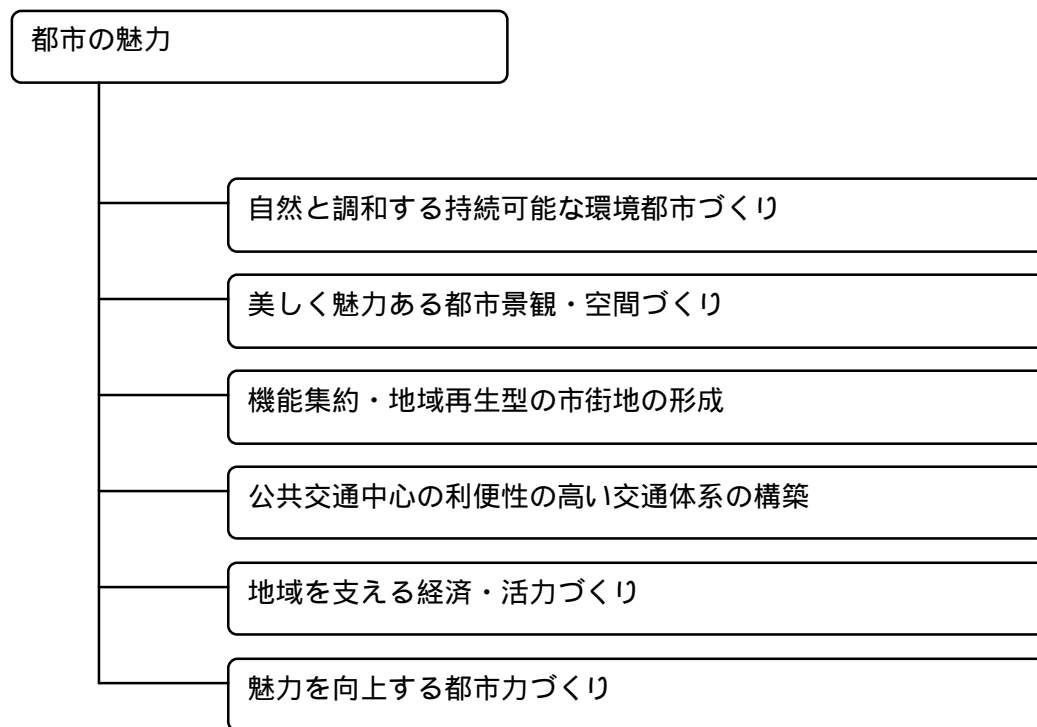
1-5-7 高齢者の知恵・知識を生かしたまちづくり

- ・ 高齢者が培ってきた知恵や知識を地域社会に還元できるような仕組みづくりを進める

(施策の体系)



(都市の魅力分野の体系)



都市の魅力分野

分野 2 - 1 自然と調和する持続可能な環境都市づくり

(動向と課題)

世界的な資源・環境制約が高まるなか、はぐくんできた杜の都を生かした環境にやさしい都市づくりのブランドイメージの強化が求められている

低炭素化の世界的気運が高まるなか、エネルギー効率の高い都市構造の形成が求められている

本市の貴重な資源である自然環境や緑地・農地等の保全が求められている

(施策の方向)

都市活動や都市構築の中に環境配慮が組み込まれた、環境負荷のより小さい持続可能な都市づくりを進める

豊かな自然を守り、環境負荷が小さく機能が集約した都市を目指すため、今後、原則として市街地ゾーンの拡大を伴わない杜の都にふさわしい土地利用を進める

(基本的施策)

2-1-1 低炭素型の都市づくり

- ・ 資源・エネルギーの消費が少なく、エネルギー効率の高い都市づくりを進める
- ・ 低炭素型のエネルギーシステムの利用を促進するとともに、低炭素型のライフスタイル・ビジネススタイルの普及を進める

2-1-2 循環型の都市づくり

- ・ 地域に根ざした市民活動などにより、資源のリサイクルを推進する
- ・ 3Rの取り組みを充実し、さらなるごみ減量を進める

2-1-3 良好で快適な環境を守り、創る都市づくり

- ・ 自動車による環境負荷の低減対策などを進め、大気汚染物質や、騒音・振動による生活環境への影響の低減を図る

2-1-4 自然と共生する都市づくり

- ・ 森林の保全や里地里山が持つ環境機能の向上を図るなど、森林等の自然や多様な生態系の保全、水源の涵養を図る
- ・ 河川の水源や水辺環境の確保など、健全な水環境の保全を進める

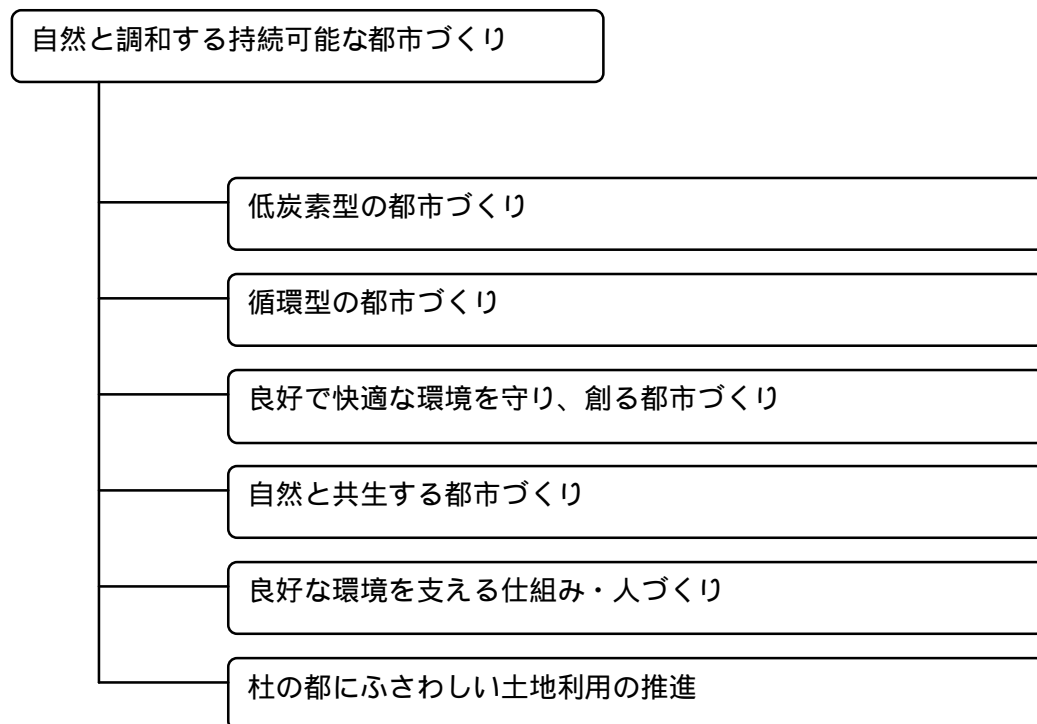
2-1-5 良好な環境を支える仕組み・人づくり

- ・ 環境配慮を促す制度を充実するとともに、環境教育・環境学習を推進し、環境の豊かさを高める
- ・ NPOや大学との連携による仕組み・人づくりを進める

2-1-6 杜の都にふさわしい土地利用の推進

- ・ 本市の地勢に基づき市域を自然環境保全ゾーン、集落・里山・田園ゾーン、市街地ゾーンに3区分し、各ゾーンの特性を生かした土地利用を図る

(施策の体系)



分野２－２　美しく魅力ある都市景観・空間づくり

（動向と課題）

景観法に基づく景観計画を策定するとともに、景観の誘導を行ってきた
美しい街並み、歴史的・文化的建造物、青葉山等の自然景観の保全が求められている
広瀬川や青葉通など、杜の都にふさわしい魅力づくりが求められている

（施策の方向）

豊かな緑や清らかな水などを杜の都の資産として、保全し、将来に継承する
杜の都の風土を育む風格ある景観づくりを進める

（基本的施策）

2-2-1　緑と水のネットワークの形成

- ・ 緑の保全と創出により、都市における緑のネットワークを形成する
- ・ 青葉通のケヤキ並木を再生し、仙台駅から青葉山につながる緑の回廊を形成する
- ・ 広瀬川や名取川、七北田川の魅力を生かした水のネットワークを形成する

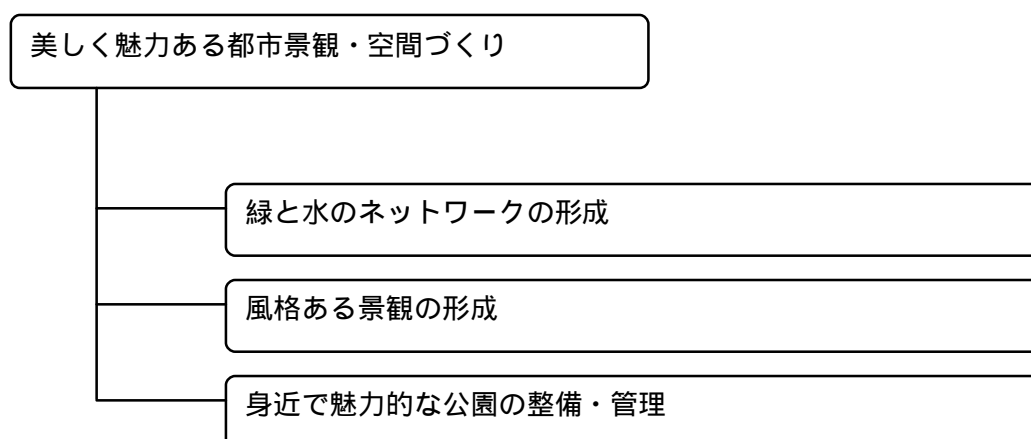
2-2-2　風格ある景観の形成

- ・ 景観法に基づく景観地区制度等を活用し、屋外広告物の制限を含め、良好な景観形成を誘導する
- ・ 景観重要建造物の指定や歴史的な資産を活用したまちづくりの支援など、景観資源の保全と活用を図る

2-2-3　身近で魅力的な公園の整備・管理

- ・ 青葉山公園の整備を進めるとともに、広瀬川を取り囲む西公園等との一体的なエリア形成を図る
- ・ 市民の憩いの場であり、災害時の避難地、救援活動拠点となる都市公園の整備を進める
- ・ 公園施設の適正な機能維持を図るとともに、長寿命化を進める

（施策の体系）



分野 2 - 3 機能集約・地域再生型の市街地の形成

(動向と課題)

人口減少社会を迎えるなか、地球環境にも配慮し、自動車交通に過度に依存しない鉄道交通を基軸とした集約型の市街地形成が求められている

特に、地下鉄東西線は、研究や産業、文化、レクリエーションなどの多様な機能を結び、新しい価値を創造する大きな役割が求められている

都心部は東北全体を支える交流拠点として、泉中央地区や長町地区は市民や都市圏住民の活動拠点として、大きな役割が求められている

郊外地域においては、生活基盤の機能低下やコミュニティの衰退などの問題が発生する恐れがあり、事前の対応策が求められている

(施策の方向)

市街地の拡大を抑制し、都心・拠点や都市軸等に都市機能を集約するとともに、郊外地域の住環境の維持保全を図る

(基本的施策)

2-3-1 都市構造の基軸となる都市軸の形成

- ・ 地下鉄南北線および東西線沿線においては、都心・拠点等と連携し機能集約型の都市構造の基軸となり、新たな価値を生み出していく十字の「都市軸」の形成を図り、それぞれの地域の特徴を生かしたまちづくりを進める

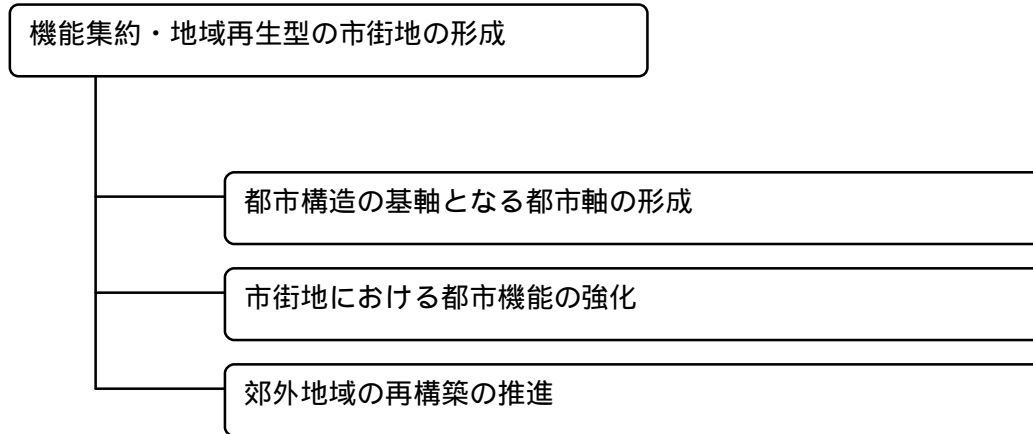
2-3-2 市街地における都心機能の強化

- ・ 市街地ゾーンを、鉄道沿線区域、工業・流通・研究区域、郊外区域に3区分し、それぞれの特性に応じた施策を推進する
- ・ 都心においては、東北や都市圏を支える高度な都市機能の集積を進めるとともに、泉中央および長町地区に都市圏の活動を支える広域拠点、仙台塩釜港周辺に広域経済流通拠点、青葉山周辺に国際的な学術文化交流拠点を配置し、魅力的で個性ある都市機能を強化する

2-3-3 郊外地域の再構築の推進

- ・ 郊外区域のうち特に生活利便性の低下が懸念される地域においては、市民とともに生活環境のあり方を検討し、その維持等に向けた取り組みを進める

(施策の体系)



分野 2 - 4 公共交通中心の利便性の高い交通体系の構築

（動向と課題）

低炭素社会への要請のなか、地下鉄東西線開業を見据えた公共交通中心の交通体系が求められている

高齢化の進展等により自動車を運転できない市民が増加することが予想される

（施策の方向）

鉄道を基軸とした、環境負荷が小さく便利で利用しやすい交通体系の構築を図る

（基本的施策）

2-4-1 鉄道を骨格とする交通ネットワークの構築

- ・ 持続可能な都市構造の形成に向け、定時性・速達性に優れ環境負荷の小さい鉄道を公共交通体系の骨格とするため、地下鉄東西線の整備を推進し、地下鉄南北線およびＪＲ線と合わせて鉄道ネットワークの構築を図る
- ・ 鉄道駅へのバスの結節を進め、鉄道の利用圏域の拡大を図るとともに、鉄道が利用しにくい地域等においては、快速バスの導入を進める
- ・ 公共交通サービスが不十分な地域においては、地域に根ざした持続可能な生活交通の確保に向けた取り組みを進める

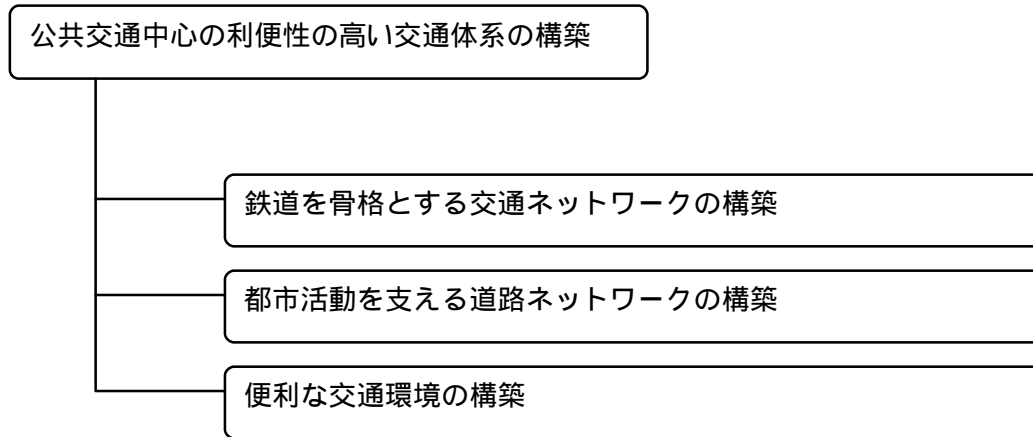
2-4-2 都市活動を支える道路ネットワークの構築

- ・ 自動車に過度に依存しない公共交通を中心とする交通体系を支えるとともに、産業活動など都市の活力を支える道路ネットワークについては、優先順位を明確にし、効果的な整備を進める

2-4-3 便利な交通環境の構築

- ・ 公共交通の利用促進のために、利用しやすい運賃のあり方の検討を進めるとともに、利便性を高めるＩＣ乗車証の導入を図る
- ・ 歩行者等の安全と両立させながら自転車の交通利便性を高めるとともに、歩行者中心の移動しやすい空間の創出を図る

(施策の体系)



分野 2 - 5 地域を支える経済・活力づくり

(動向と課題)

人口減少等により本市の経済成長率の鈍化が危惧されるなか、地域経済の活性化、雇用の維持・確保が求められている

仙台都市圏北部において、自動車関連産業などの大規模製造業の集積が進んでいる

産学連携や企業間連携によるイノベーションの創出が求められている

高い付加価値を生む都市型産業の振興と立地が求められている

高齢化が急速に進行するなか、高齢者の医療・介護コストの削減が求められている

商店街を取り巻く環境が厳しさを増すなか、中心部商店街においては、東北の商業機能の中核としての役割が求められるとともに、地域商店街においては、地域の要としての役割が求められている

国土の保全等の多面的な機能を有する農林業の維持・存続が求められている

(施策の方向)

都市の活力と市民生活の豊かさを支える産業の振興を図り、多様な雇用機会を創出する
中心部商店街においては集客力の強化に向けた魅力の向上を図るとともに、地域商店街においては地域特性を生かした魅力の向上を図る

(基本的施策)

2-5-1 中小企業の活性化

- ・ 制度融資枠の確保等により中小企業の経営や起業を支援するとともに、新規雇用や就業機会の創出を図る

2-5-2 付加価値の高い産業の振興

- ・ 仙台都市圏における大規模製造業の立地集積を捉え、産学連携や企業間連携のネットワーク化等により、製品開発型の中小企業を支援する体制づくりを進める
- ・ 文化や芸術を活用したクリエイティブ産業の振興を図るとともに、製造業や観光業など他産業との連携を支援する
- ・ 地下鉄東西線沿線のまちづくりと連動した産業集積を図る
- ・ 情報技術を活用した付加価値の高い健康福祉機器・サービスの研究開発を促進し、先進予防型の健康福祉サービスクラスターの形成を図る

2-5-3 都市型産業・研究機関の誘致推進

- ・ 研究開発型企业やソフトウェア業など付加価値の高い企業分野をターゲットに、あすと長町や青葉山サイエンスパーク等への産業誘致を図る

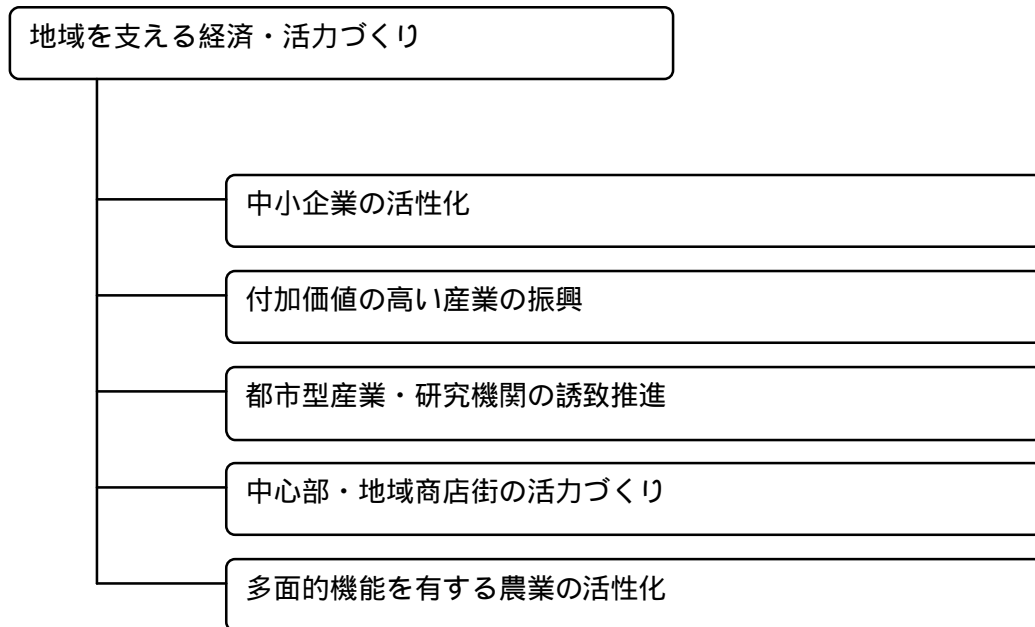
2-5-4 中心部・地域商店街の活力づくり

- ・ 中心部商店街においては、地下鉄東西線の開業も見据え、情報発信や観光とのタイアップ、イベントとの連携などにより、集客力を高めて活性化を図る
- ・ 地域商店街においては、地域資源を生かしながら、持続的活動のための人材育成や地域との連携の支援を進める

2-5-5 多面的機能を有する農業の活性化

- ・ 耕作放棄地の有効活用の推進、農業経営の担い手の確保と育成などにより、自然環境の保全や食料供給力の向上を図るとともに、農業の活性化を進める

(施策の体系)



分野 2 - 6 魅力を向上する都市力づくり

(動向と課題)

平成 22 年には東北新幹線が青森まで延伸し、本市と東北の全県庁所在地が新幹線ネットワークでつながった

同年には政令指定都市の都市圏で初めて自動車専用環状道路ネットワークが完成するとともに、常磐自動車道や三陸自動車道の延伸をはじめとして、東北地方の高速道路網のさらなる充実が進んでいる

本市と東北を結ぶ高速バスネットワークも充実してきている

このような資源を生かし、都市の魅力を高めることが求められている

東北地方や仙台都市圏における広域交通体系の整備が進むなか、東北の拠点としての役割が求められている

(施策の方向)

大学や企業、東北の他都市と連携しながら、交流資源を発掘・創造し、都市のブランド力を向上する

効果的なプロモーション活動や交流機能の強化により、交流人口を拡大し、地域経済の活性化を図る

東北の他都市との連携を強化し、東北地方および仙台都市圏における広域的な交通網や物流を生かし、東北全体の発展を支える

(基本的施策)

2-6-1 都市の魅力づくりと都市ブランドの向上

- ・ 他都市と連携したブランド力づくりを進め、戦略的な情報発信を行う
- ・ プロスポーツや国際スポーツイベントを通じ、都市の魅力を高めるとともに、交流人口の拡大を図る
- ・ 仙台国際音楽コンクールや仙台クラシックフェスティバルの開催など、「楽都」「劇都」のブランド力の向上を図るとともに、大規模な音楽ホールの整備に向けた検討を進める
- ・ 仙台七夕まつりや光のページェントなど、仙台の風物詩である市民の力によるイベントを支援し、その魅力を発信する
- ・ 魅力ある動物園づくりを進める

2-6-2 世界と東北をつなぐ交流拠点機能の強化

- ・ 観光資源の魅力アップやおもてなし向上などを図り、観光を振興する
- ・ 国際交流基盤の整備を進めるとともに、本市産業や東北の製造業の発展を支える国際経済拠点の形成を図る
- ・ コンベンション機能の強化や受入態勢の充実などにより、国際的な会議やイベントの誘致を進める
- ・ 本市及び東北の活力を支えていくために、産業や交流の要となる高度な都市機能の充実を図る

(施策の体系)

